

2015年11月24日

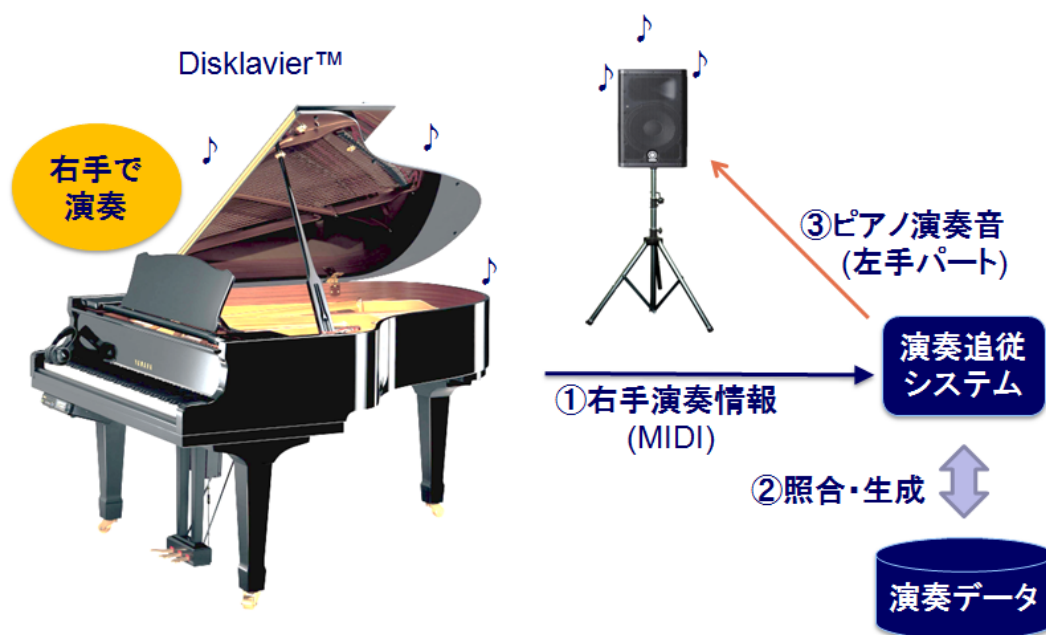
■ 障がいを持つ方のピアノ演奏を自動演奏でサポート。演奏にあわせて左手パートなどを自動化
「藝大21 藝大アーツ・スペシャル2015 障がいとアーツ」への協力について
 - 12月5日、6日の音楽劇、ミニ・コンサートに協力。(場所：東京藝術大学 上野キャンパス) -

ヤマハ株式会社は、12月1日(火)から12月6日(日)にかけて東京藝術大学(上野キャンパス)にて開催されるイベント「藝大21 藝大アーツ・スペシャル2015 障がいとアーツ」に製品と技術を提供し、障がいを持つ方のピアノ演奏を自動演奏でサポートします。

「藝大アーツ・スペシャル2015 障がいとアーツ」(主催：東京藝術大学、東京藝術大学演奏芸術センター、東京藝術大学 COI 拠点)は、障がいを持つ方々と分け隔てなく美術や音楽を楽しめる空間を提供し、現代社会に適合した芸術の可能性を探求するためのイベントで、今回で5回目の開催となります。

当社は、同イベントの音楽劇(12月5日開催)やミニ・コンサート(12月6日開催)に、当社の自動演奏機能を持つアコースティックピアノ「Disklavier™」(ディスクラビア)と、当社の「演奏追従技術」を提供します。これらを応用することで、手や足に障がいを持つ特別支援学校の生徒が「Disklavier」でピアノ演奏を行う際に、右手の演奏にあわせて左手パートの演奏音を自動的に付与するなどして、その演奏をサポートします。

なお、当社は2015年10月より、文部科学省と科学技術振興機構の事業である「革新的イノベーション創出プログラム (COI STREAM)の拠点の一つである「東京藝術大学 COI 拠点」に参画しています。今回の協力はその活動の一環として行うもので、障がいの有無を問わない音楽表現を追求するための取り組みです。



[演奏サポート イメージ]

<当社協力対象プログラム>

■音楽劇「星がひかるとき」～ボーダレス・パフォーマンス～

音楽、映像、美術など様々な表現方法を駆使して、東京藝大の学生と障がいを持つ特別支援学校生3名が共に創るオリジナル音楽劇。プログラム中、筑波大学附属桐が丘特別支援学校生徒が「Disklavier」でピアノ演奏を行う際に、演奏にあわせて一部の演奏を自動で行い、その演奏をサポートします。

- ・日 時： 12月5日(土) 14:00～14:45(13:30 開場)
- ・場 所： 奏楽堂ホール
- ・企 画： 東京藝術大学演奏藝術センター開設授業
「障がいとアーツ」受講生
- ・出 演： 筑波大学附属桐が丘特別支援学校生徒
筑波大学附属視覚特別支援学校生徒
東京藝術大学学生
- ・演 目： ショパン 「ノクターン第2番」^(*)、エルガー 「ため息」 ほか
*演奏サポートの対象

■ミニ・コンサート&シンポジウム「障がいと表現」

特別支援学校生によるミニ・コンサートと、最先端技術を使用した演奏を聴き共生社会の未来について、各方面で活躍する専門家と共に考察するシンポジウム。プログラム中、筑波大学附属桐が丘特別支援学校生徒が「Disklavier」でピアノ演奏を行う際に、演奏にあわせて一部の演奏を自動で行い、その演奏をサポートします。

- ・日 時： 12月6日(日) 12:15～14:00(12:00 開場)
- ・定 員： 200名
- ・場 所： 音楽学部第6ホール
- ・演 奏： 筑波大学附属桐が丘特別支援学校生徒
- ・司 会： 宮廻 正明 (日本画家/東京藝術大学社会連携センター長)
- ・パネリスト： 水野 正明 (名古屋大学医学部附属病院教授・総長補佐)
北島 郷美 (パラリンピアン/日本車椅子バスケットボール連盟副会長)
川島 成道 (ヴァイオリニスト)

その他のプログラムや申込方法など、「藝大 21 藝大アーツ・スペシャル 2015 障がいとアーツ」の詳細については、公式サイトをご覧ください。

<http://www.geidai.ac.jp/container/sogakudo/35926.html>

<当社提供技術・製品について>

- ・「Disklavier」(ディスクラビア)

演奏情報を忠実に録音し、再生ができる自動演奏機能付きアコースティックピアノです。当社独自の高精度デジタル制御システムによって、鍵盤やペダルの動きを正確に再現します。

製品ページ：http://jp.yamaha.com/products/musical-instruments/keyboards/grandpianos/e3_series/

- ・「演奏追従技術」

演奏内容をリアルタイムに解析し、楽譜上における演奏箇所を特定することができる技術です。いわば楽譜のGPSのような技術で、演奏にあわせて自動的に伴奏を鳴らしたり、譜面をめくったり、映像を同期させたりすることが可能となります。

演奏追従技術の一例：http://www.y2lab.com/project/score_alignment/

<東京藝術大学 COI への参画と今後の活動について>

当社は、2015年10月より、文部科学省と科学技術振興機構の「革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)の拠点の一つである「東京藝術大学 COI 拠点」に活動組織として参画し、「感動」を想像する芸術と科学技術による共感覚イノベーション」の創出に向けた活動を行っています。今回の協力はその活動の一環として行うもので、当社は今後も「東京藝術大学 COI」にて楽器開発技術などを通じた活動を継続的に行い、音楽表現の分野における革新的なイノベーションの創出を目指します。

*Disklavier(ディスクラビア)は、当社の登録商標です。

*文中の商品名、社名等は、当社や各社の商標または登録商標です。

この件に関するお問い合わせ先

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 広報部 広報グループ 担当：新川(あらかわ)

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL 03-5488-6601 FAX 03-5488-5060

ウェブサイト http://jp.yamaha.com/news_release/

(取材申し込みや広報資料請求が可能です。)